

「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間			受講料	受講人数	受講者募集期間
教員免許状更新講習「必修」	学校をめぐる内外の状況は近年大きく様変わりしつつあるが、教育の最新事情について、県立高等学校、特別支援学校の退職校長、県教育行政、県教育センター経験者等が講師となり、学校現場や教育行政等の体験を活かした講義を行う。主たる対象は高等学校教員、幼小中高等部の特別支援学校教員となるが、小中学校にも視野を広げ講義する。	原野 雅(非常勤講師) 山崎 賢一郎(非常勤講師) 藤田 庸久(「宇美町立こども療育センターすくすく」園長) 濱本 隆(非常勤講師)	12時間	平成23年8月23日～ 平成23年8月24日			12,000円	50人	平成23年7月18日～ 平成23年7月29日

「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	受講者募集期間
いのちの対話～「からだ」と「こころ」の共持性～	「いのち」は、唯一絶対と言えるものながら、このことをなかなか実感出来ない。この「いのち」に直向き合っている救命救急と緩和医療の世界に触れ、教育現場において具体的に「いのち」を考えてもらうことが狙いである。その救える「いのち」に対して、私たちが出来ることは心肺蘇生法(CPR)になる。このCPRまでを実習しながら、救える「いのち」の体験により、教育現場で「いのち」を考える機会としたい。	高松 学文(高度救命救急センター 助教) 福重 哲志(緩和ケアセンター 教授) 満園 良一(健康・スポーツ科学センター 教授) 豊増 功次(健康・スポーツ科学センター 教授) 原 賢二(健康・スポーツ科学センター 講師)	6時間	平成23年8月26日～ 平成23年8月26日	教諭	すべての教諭	6,000円	50人	平成23年7月18日～ 平成23年7月29日
「いのち」と「からだ」の対話	我々は、さまざまな人々とともに生きることを考慮する上で、障害者の存在を抜きに語れない。同時に、障害者における身心は、可能性を秘めた身心としてアダプテッド・スポーツの世界を彩っている。この障害者に至る過程について「いのち」を軸に振り返り、健常者にも難しい車椅子バスケットなどアダプテッド・スポーツを幅広く経験してもらう。障害者に特有なスポーツ環境を共有することで、教育現場における多様な人々の共生・共存を実践する基点にしたい。	山野 明(非常勤講師) 満園 良一(健康・スポーツ科学センター 教授) 山下 大介(非常勤講師)	6時間	平成23年 8月27日～ 平成23年 8月27日	教諭	すべての教諭	6,000円	40人	平成23年7月18日～ 平成23年7月29日
「からだ」と「あたま」の対話	「からだ」は考える土台となると同時に、考えたことの多くは「からだ」でしか表現できない。本講習では、最終的に高良山を舞台にオリエンテーリングを行う。先ず、コース設定法について学び、学校現場で活用できる基本的且つ最新情報としてのRICE(応急処置)やCPR(心肺蘇生法)などのリスク・マネジメント能力、グループワークで培うことのできる協調性や判断能力の体得を目指す。また、達成感とともにグループワークやレクリエーションの手法など学校行事の充実を図り、生徒への接し方を見直す機会としたい。	乙木 幸道(非常勤講師) 満園 良一(健康・スポーツ科学センター 教授)	6時間	平成23年 8月28日～ 平成23年 8月28日	教諭	すべての教諭	6,000円	30人	平成23年7月18日～ 平成23年7月29日
「小学校外国語活動」指導者のスキルアップを目指して	2011年度からの小学校外国語活動必修化に伴い、文部科学省は2009年から移行期間2年間で教員研修を一人当たり30時間と定めた。各小学校では校内研修等を通して外国語活動の目標、授業の組み立て方等について、これまで教員に浸透を図ってきた。本講座では、日頃、外国語活動(英語)に携わっている小学校教員を対象に、教員自身の英語の更なるブラッシュアップを発音、基本的な文法、そして教授法などの観点から目指す。	新山 美紀(外国語教育研究所 准教授) 安藤 裕介(文学部国際文化学科 准教授) アーサー・ミアマン(文学部国際文化学科 准教授)	6時間	平成23年12月26日	教諭	小学校教諭	6000円	40人	平成23年11月16日～ 平成23年11月30日
家族関係・親子関係の家族・臨床心理学的理解	家族心理学や臨床心理学の理論や家族療法の技法をもとに、現代の家族関係・親子関係を理解する方法を身につけることを目的とする。講義や小グループでの実習を通して、子どもたちの抱える悩みや問題をより深く、的確に理解することを目指す。また、親や家族への対応とより良い支援について考える。さらに、自己の家族関係・親子関係への理解を深める。	徳田 智代(文学部心理学科 准教授)	6時間	平成23年12月28日	教諭 養護教諭	全教員	6000円	40人	平成23年11月16日～ 平成23年11月30日